

発行：はつらつ編集局
発行日：平成24年1月1日
発行人：吉田 秀明
編集人：はつらつ編集委員
お問い合わせ：0135-23-3126

はつらつ

Vol. 91

新春の御挨拶

院長 吉田 秀明

平成24年という新しい年を迎えて、皆様に御挨拶を申し上げます。

昨年は、世界的にはもちろん日本にとっては想像を絶する災害や事故が次々と起こり、きわめて悲しく残念な意味での「歴史的な一年」でした。日本が普通の状態まで再復するには莫大なエネルギーと長い年月が必要でしょう。平成24年という年は、その長い苦難の行程の第一歩と覚悟しなくてはならないと思います。私共の余市病院も、その新たに生じた社会的な使命を皆様とともに、できる限り果たしていく所存です。

さて、昨年のご挨拶で私は、従来の病院の理念・目標に加え、日々の仕事をこなす上で具体的なスローガンをお示しましたが、ここでもう一度繰り返します。

私たち余市病院職員が求めるものは、**患者様の笑顔・地域への貢献・自らの幸せ**です。

余市病院は「自分の家族が病気やけがのとき、受診を勧められる病院になること」を究極の目標としてかかっています。そのためには診療内容が日本標準レベル以上であることが必須条件で、それに加えて親身な対応や地域の方々からの信頼など、様々な要素が必要です。日常の忙しい業務の中ではそのすべてを意識していることは難しいことですが、ちょっと一息ついたときに「患者様は喜んでくれているだろうか」と自分に問い、医療職の原点に思いをいたすことが肝要と考えています。

地域への貢献は、時間外・救急の対応が大きなウェイトを占めます。限られた人員ですので皆様には御満足いただけないことも多々あるかと存じますが、引き続き余市病院を育てて下さいますよう、あらためてお願い申し上げます。なお救急体制維持のために、今年度も北後志5町村から総額2千5百万円の補助をいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

今年の大きな目標をご説明いたします。それは「回復期リハビリテーション病棟」をできるだけ早くに開設することです。当院は平成22年9月に3つある病棟のうち1つを看護師不足のため休止していますが、これを後志地域で不足している「回復期リハビリテーション病棟」としてできるだけ早く再開する計画を一年前からたて、少しずつではありますが、スタッフの確保など具体的に進行しつつあります。

「回復期リハビリテーション病棟」とは、脳卒中や骨折、手術などで運動能力が低下した方々を対象に、総合的なリハビリテーションを手厚く提供して、早期の機能回復、自宅復帰を目指していただくための病棟です。リハビリテーション担当の職種は大きく次の3つです。

理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語療法士(ST)

3つの職種に境目があるのではなく、お互いに連携して患者様の回復のために必要なプログラムを設計します。当院では現在、PT5名、OT1名、ST1名がフル稼働しておりますが、新年度にはあらたに各2~3名ずつ採用が内定しており、さらに積極的に採用を増やして、最終的には総計20名以上の布陣に拡充する予定です。いままでとても遠くの施設にしかなかったために、患者様、御家族がたいへん御苦労されていたのですが、余市病院はリハビリを本格的にできる環境を整えることにより、地域の皆様のお役に立てるものと確信しています

ところで**地域医療の崩壊**が話題となって数年が経過しています。

ベッド数300~700という大きな市立病院や公的基幹病院などで内科医が一斉に引き揚げたりした結果、病院の運営とりわけ救急受け入れ体制の維持が困難になって、広汎な地域に甚大な影響を与えました。新聞やテレビなどで報道されておりましたので御存知の方も多いと思います。その後の病院再建の経過はここでは割愛させていただきますが、一つ好ましい現象が各地で起こってきました。これは一種のショック療法とも考えられますが、「あの大病院でさえ」という驚きが住民や行政に現実的な危機感をもたらし、その結果、「〇〇の地域医療を守る住民の会」といった、地域を守る為に住民自らが行動を始めたものです。医療施設は地域生活を守る重要なインフラであるということが、徐々に浸透して来た結果であると受け止めております。

最後に、私は、生活圏を支える根本の要素は「人を守り人を育てる」とことと申し述べて参りました。その、人を守る大きな役割を医療が担っていると認識しています。いまひとつの「育てる」とは教育に他なりません。病院に余力が生じ次第、地元小中生の学力アップに協力し、医師、看護師、医療技術者、等を自力で養成したいという夢もっています。

ロタウイルス胃腸炎予防ワクチン開始！ ロタリックス内用液

ロタウイルス胃腸炎は乳幼児に多く起こるウイルス性の胃腸炎です。発症は冬~春に多く、主に生後3~24ヶ月に起こりますが、ピークは生後7~15ヶ月です。

ロタウイルス胃腸炎の重症化はワクチン接種によって防ぐことができます。

ロタリックス内用液は、経口生ワクチンです。(注射ではありません)

詳しくは小児科外来にお問い合わせ下さい。



2011年最期のイベントとして、去る12月16日(金)の夜に待合ロビーでクリスマス会を開催しました。大川小学校ジュニアコーラスの皆さんの御協力で、天使の歌声と本格的な音楽を堪能した後はサンタやトナカイからメリークリスマス!のミニプレゼント。職員の催しはピアノやギターの伴奏と共にクリスマスソングの合唱でした。緊張でドキドキしながらも(特に伴奏者は口から心臓が飛び出そうだったとか...)一生懸命な歌声で会場はクリスマスムードに包まれました。 **患者サービス向上委員会**

「クリスマス会」開催しました♪

救急件数 (12月)
外来受診237件 うち入院46件
救急車来院64件 うち入院35件

お詫び 諸事情により、1月号と2月号を一緒に発行することになってまいりました。今後はこの様なことが無いように努めて行きますので、これからも「はつらつ」を宜しくお願い致します。 はつらつ編集委員一同